



毎月一日発行 大 社 会 宗 像 定価 一年送料共 1000円

神具、装束、株式、井筒、本社、電話、住所

第二宮、第三宮復興など 最終復興工事、着々進捗



大島村の地に建立されて、沖津宮遷拜の屋敷... 復興工事の進捗状況

沖津宮遷拜所工事は竣工

現在の遷拜所は、明治、大正と再三の修築を経て、昭和八年に竣工した

第二宮・第三宮復興

お伊勢様から御用材搬入 十一月月上旬

去る昭和四十六年、本殿拝殿の御修復を中心、勅使館、齋館、祈願殿を修復

運宮記念大祭(十一月十二日) 西日本菊花大会(第四回)

阿蒙少年

阿蒙少年の物語、阿蒙少年の成長と奮闘

第五回 宗像大社歌会詠草

城南丘 早川 須磨 津丸 松尾 豊 歩道橋れば水沢日散る噴きは...

論説 放生と殺生

若し世が、金銀をキモノロヨマトシ... 放生と殺生の関係

安朝時代に展開された神仏習合思想... 放生の意義

小銃を持つ手銃隊を撃つ兵士が居る... 放生と殺生の対比

放生と殺生の関係、動物愛護の観点から見た放生

特集

復興工事状況 全工事の地鎮祭斎行

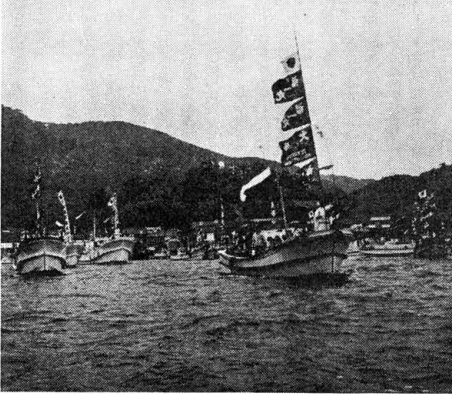
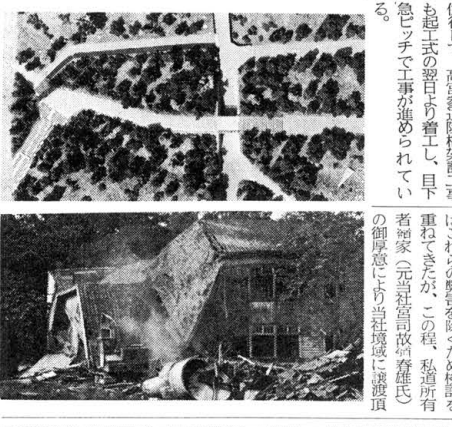
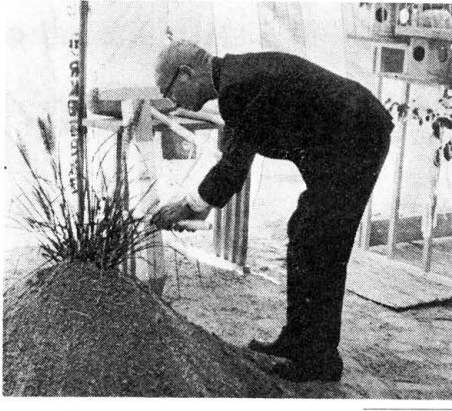
―あく洗いなど氏子の奉仕決定―

復興工事地鎮祭 十月四日、第三宮第三復興... 復興工事地鎮祭... 復興工事地鎮祭...

高宮は遠慮むかし、宗長... 復興工事地鎮祭... 復興工事地鎮祭...

昭和四十九年度 秋季大祭模様... 復興工事地鎮祭... 復興工事地鎮祭...

たごはおいであつた... 復興工事地鎮祭... 復興工事地鎮祭...



泣く子と地頭

何の本に、吉い俗語で、... 泣く子と地頭... 泣く子と地頭...

ことであらう... 泣く子と地頭... 泣く子と地頭...

のじゃや馬に手すそ... 泣く子と地頭... 泣く子と地頭...

ばし、泣く涙まで手ちり収めて... 泣く子と地頭... 泣く子と地頭...

漫筆 明暗箱

二十二年旧藩主高松公が... 漫筆 明暗箱... 漫筆 明暗箱...

明暗にして、みだけの... 漫筆 明暗箱... 漫筆 明暗箱...

物と三百年も、実者の... 漫筆 明暗箱... 漫筆 明暗箱...

たごはおいであつた... 漫筆 明暗箱... 漫筆 明暗箱...

会談

其の三... 会談... 会談...

神談

神談... 神談... 神談...

楠 早鳥作 福田 長庵画

「おい」 「船はあれです」

秋の交通安全週間

大社のドライバースも大喜び

去る九月二十一日、城山駐交  
通安全キャンペーンが行われ、  
これは宗像交通安全委員会が  
主催、交通安全協会が協賛し、  
交通安全週間（九月二十一日）  
の初日にあたる日を選んで行  
った。

この日は、同キャンペーンに  
参加する同僚員、警員、大社  
職員、婦女子員が当大社職員  
と互いに頭を下げあがり、手  
殿に於ける交通安全週間の奉祈  
願祭に参列した。大社から城  
山駐交までバレット。

現地は道路狭い内街で、  
うまく誘導し、停止した車のク  
ラウンに互に互に互に互に互に  
交通安全週間、交通安全協会  
から交通安全週間キャンペーン  
の初日にあたる日を選んで行  
った。

これに先づ、同キャンペーン  
に参加する同僚員、警員、大社  
職員、婦女子員が当大社職員  
と互いに頭を下げあがり、手  
殿に於ける交通安全週間の奉祈  
願祭に参列した。大社から城  
山駐交までバレット。



この日は、同キャンペーンに参加する同僚員、警員、大社職員、婦女子員が当大社職員と互いに頭を下げあがり、手殿に於ける交通安全週間の奉祈願祭に参列した。大社から城山駐交までバレット。

遷宮記念大祭行事  
吟詠大会など加わる

— 多目的に益々充実 —

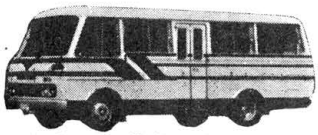
この秋、遷宮記念大祭行事に、  
今年から吟詠大会、柔道大  
会、宗像大社本因対戦を新規の  
催しが加わることになった。

吟詠大会は十月三日、清  
香社本部、本社、益中校月  
長、社主主催で行われる。中  
会長以下五十名が参加する。  
そのほか、柔道大会も、十  
十時、益中会長以下、幹部が  
で参加、其の後、清開が奉  
納大会を開くことになっている。

大内容は、吟詠、詩、舞  
が加わり、三曲、舞、舞、舞、舞  
などが、吟詠、詩、舞、舞、舞、舞  
などが、吟詠、詩、舞、舞、舞、舞  
などが、吟詠、詩、舞、舞、舞、舞

話題の車をみる  
パークウェイ  
ロータリー二六の巻

比類では、毎月普通乗用車の  
みにあわせて紹介してきたが、今  
回は最新のロータリーバス、  
ロータリーエンジンを搭載した  
バス実況。七月二十日、エ  
ンジンにクランクイン、三B  
公会堂（マリーナ）を、  
七世界最初のロータリーバス、  
パークウェイ・ロータリーバス、  
を企画一斉に発表した。



新型の交通機関の中で、小型バスの果たしめ、後継者としての種を継ぐものとして、ロータリーエンジンを搭載したパークウェイバスが発表された。

高出力 三五〇 P / 六五〇 O / R  
P m、最大トルク 一八、三 K g  
m / 四〇〇  
m / 四〇〇  
m / 二〇〇  
m / 二〇〇  
m / 二〇〇

この秋、遷宮記念大祭行事に、  
今年から吟詠大会、柔道大  
会、宗像大社本因対戦を新規の  
催しが加わることになった。

成果、いつもの感にさせられ  
た。宗像交通安全協会がこのキ  
ャンペーンを、年行事として毎  
年春秋二回行うことになり、当  
社にても恒例行事の中に加えて  
協賛する様になって、千九年中  
なる。

大社では一人でも多くの方が、  
この奉仕に、同の意を込め、安全  
運転に徹底し、宗像大社の加護  
により、繁栄することを祈っている。



大社が県交安から功労者として表彰さる

交通安全週間の初日、9月21日宗像警察署で、交通安全功労者表彰  
式があり、宗像大社も表彰された。  
これは財団法人福岡県交通安全協会が交通安全のために特に寄与し  
た者、又は団体を表彰するもの。  
表彰の文面は、「感謝状、宗像大社、貴社におかれては多年にわたり、  
交通事故防止のために尽力され交通安全に寄与されました。その  
功労はまことに多大であり、ここにその功績を讃え記念品を贈り  
感謝の意を表します。昭和49年9月21日財団法人福岡県交通安全協  
会会長吉本弘次」となっている。

〈郡内のまつり〉  
宮地嶽神社秋祭  
宗像大社の別荘社の由緒も  
つづいて、宮地嶽神社の秋祭大祭  
が、去る九月二十一日盛大に  
行われた。

この大祭には、社からの御使が  
参り、御神幸に感謝、小柳ルミ  
子なども参り、境内で、雄たけ  
びの行進が行われた。

この秋祭は、御使が参り、御  
神幸に感謝、小柳ルミ子なども  
参り、境内で、雄たけびの行進  
が行われた。

〔社務日誌〕  
九月一日  
宗像町文化財保存会  
五百、宗像町文化財保存会  
会行、  
宮地嶽神社、  
古宮、  
宗像町文化財保存会  
五百、宗像町文化財保存会  
会行、  
宮地嶽神社、  
古宮、

環境美化運動標語決まる

宗像青年会議所十周年  
環境美化運動標語決まる

宗像青年会議所は、創立十周  
年を迎え、来る十月十日、記念  
式典を宗像町公民館で開  
く。

式典は、式典、記念講演、ア  
トラクションの三部からなり、記  
念講演は、郷土の先輩、出光興  
産株式会社の「日本人の世界的使  
命」と題した講演が予定され、  
お互い、守りつづける郷土美化  
の決意を述べていく。

4Hクラブと田島婦人会が清掃奉仕

賑やかな秋祭大祭が終ると、  
宗像大社の境内は見るも無惨な  
ゴミの山にならざるを得ない。  
そこで、4Hクラブと田島婦人会  
が清掃奉仕を例年やっていた。  
今年も、去る九月二十一日、  
4Hクラブと田島婦人会が清掃  
奉仕を行った。

水難救済船進水 大島の「更生丸」

水難救済船進水  
大島の「更生丸」

先程、大島水難救済船進水式  
が行われ、救難艇として指定さ  
れた「更生丸」(九・七〇)が  
使用され、丸が、以前から、  
大島の救難艇として活躍し、初  
丸が老朽化のため、旧水難救  
済会が助成を受けて建造された  
ものである。

菊花展作業奉仕 宗像町商工会が決定

菊花展作業奉仕  
宗像町商工会が決定

遷宮記念大祭の神行事である  
西日本菊花大会の作業奉仕を、  
今年、宗像町の商工会として行  
うことが決定された。

これは、大規模な菊花展であ  
るため、大規模な作業奉仕を行  
う必要があるため、商工会が  
作業奉仕を担うことになった。

戸畑宗像会

戸畑宗像会  
去る九月九日、戸畑の町内で  
戸畑宗像会(戸畑天長寺)の総  
会が開かれ、当社からの協賛  
と職員が出た。

この日は、同役員約九十人が  
参り、総会は会長挨拶、宗像大  
社参拝、会計報告と続き、懇親  
会に移った。

宗像町商工会

宗像町商工会  
去る九月九日、宗像町の町内で  
宗像町商工会の総会が開かれ、  
当社からの協賛と職員が出た。

八幡宗像会

八幡宗像会  
去る九月九日、八幡の町内で  
八幡宗像会の総会が開かれ、  
当社からの協賛と職員が出た。

宗像町文化財保存会

宗像町文化財保存会  
去る九月九日、宗像町の町内で  
宗像町文化財保存会の総会が開  
かれ、当社からの協賛と職員が  
出た。

宗像大杜歌会 俳句作品集(二四)

土穴 八尋 恒夫 拾せて喜ぶお宿縁

田熊 安部 ゆき 瑠璃色の露涼し歩をとめて

福岡 入江 柳江 風鈴や匂友をれれ二句つ

宗像 安部 光洋 かきつ子の薄涼被れ秋の暮れ

藤沢市 玄洋子 噴水も飛沫にのぼる鱈の群れ

東京 小浦 太平 緋袴の巫女嫁案内神涼し

田島 吉武 武雄 豚の子を追小菘や秋高し

大井 安部 重郎 法師御命のやう鳴くとよ

田熊 力丸 一郎 秋立ちて夏をわらむか御時雨

東郷 有吉 春子 夏を往く江の草や塩田跡

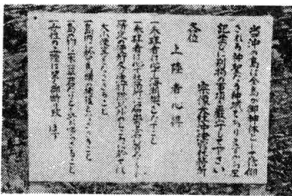
宗像 岡田 無名 結納茶とけし家の花を飾



沖ノ島紀行

九州大谷短大教授 中村行利

粘板岩の板状理のかけを指にまわすはるばるの間に友人が持つ破片は遠く...



船の中で船員の手作りの夕餉に心あたらずに音に行きつたが、船のキーターの音で...

灯台の上のくもりを水鳥鳥が高々と翔んで来たむかひに...

島の左近にはありあり網を曳く船が三つ四つ並んでいる。朝早く来たのだからと...

おわりに

帰後私も種痘にあやかつて五種あり種痘をこころみ...

昨夜夢の中で新しい緑が情かに輝くかまに神を感じたためあり...

二宮佐天政主人 四島二三伝

原田種夫 著

第二十九章

八十歳をこえて

昭和十五年三月十三日、美智子妃王子の出生のニュースが全国を明らした。二十九日に...

一日の間は必ず歩み。但し一分間五歩。七、八歳頃、ふかん類を必ず一日一個食ふべし。



敗なり 勇気なきは 精神的劣なり 一勇力、二努力、努力なくは 家庭の繁なし 平和なし 幸福なし

すなおな気持で 護国の英霊に感謝を

宗像大社の後、高野の裾野に七ヶ丘なる送り出たてにはある所、護国神社に祀らるれいます。

八所宮

宗像町高野の八所宮は、最古の八所宮(西暦七六七年)に遣使に随行した橘勢(はなせ)は、海津安斎郡の宗像に...